

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 折尾東 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

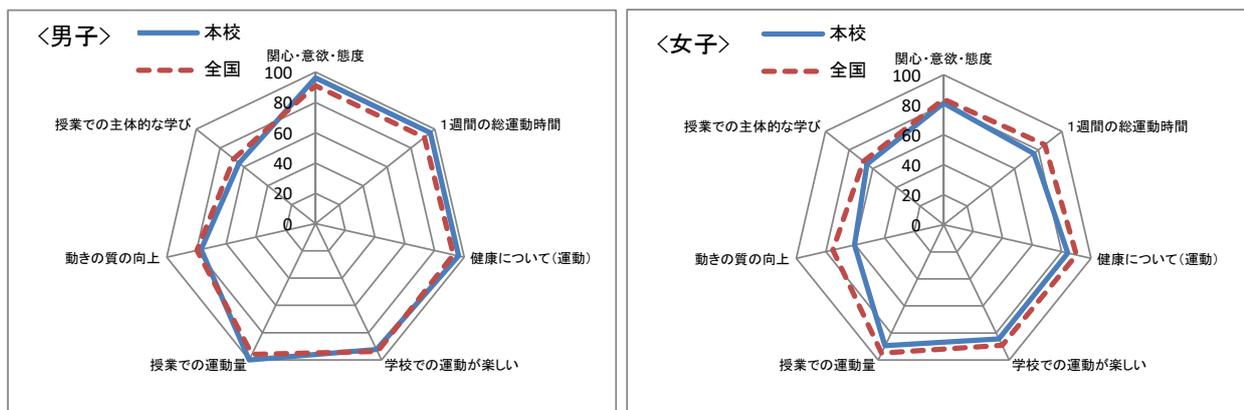
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

・「運動やスポーツが好きだ」と思う児童の割合は男女とも高いが、自分なりの目標を立てたり、自分で練習を工夫したりする主体的な学びが苦手である。また、自分の動きの質が向上している(正しいフォームで走れるようになった等)ことに気付くまでは至っていない。

・男子は、体育の授業でも、それ以外でも運動量が全国平均以上に確保されているが、女子は運動量が少ない。男女差なく、生涯体育へ繋がる指導が必要である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・現在、授業の始めにサーキットトレーニングを行っている。そのトレーニングを、感染症対策をしながら、学年で児童の実態に合わせて学期ごとに改善し、児童の体力向上に繋げていく。

・「おりひがスポーツデー」で、各学年でダンスに取り組み、男女共に表現することの楽しさにふれさせていく。

・ICTを活用して、自分の動きを自分で確認できるように工夫して、動きの質が向上していくように努めたい。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

・サーキットトレーニングを継続をしていくことで、多様な運動に慣れる取り組みを今後も続けていく。

・学校通信(おりひがっこ)や学年通信等で運動の習慣がつくように啓発していく。

・県のスポン広場のランキングに登録することで、記録の伸びに着目し運動を継続するよう促したい。